

2023年9月14日



報道関係者各位

一般社団法人うみらいふ

キャンプ場の”ごみゼロ”を目指して県内17施設で作戦を展開！
進撃の海拾人「キャンパー兵団海ごみ討伐作戦」スタート！

2023年9月16日(土)～10月31日(火)

一般社団法人うみらいふは、9月16日(土)より、キャンプ場のごみゼロを目指したキャンペーン「キャンパー兵団海ごみ討伐作戦」をスタートいたします。この「キャンパー兵団海ごみ討伐作戦」は、キャンプ場で発生する散乱ごみ・放置ごみをゼロにすることで、陸から発生するごみを減らし、海洋ごみ削減に繋げるために実施するキャンペーンで、連携するキャンプ場でごみ袋を受け取りごみ拾いに参加し、Instagramに、「#キャンプごみ討伐」を付けて、画像を投稿してくれた方の中から抽選で「進撃の海拾人」オリジナルグッズをプレゼントするものです。

一昨年度より推進しているTVアニメ『進撃の巨人 The Final Season』とのタイアッププロジェクト「進撃の海拾人(かいしゅうにん)」の今期第2弾として実施いたします。この取り組みは、日本財団が推進する海洋ごみ対策プロジェクト「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」の一環で開催するものです。

「進撃の海拾人」HP: <https://obs-oita.co.jp/cp/shingeki>



©諫山創・講談社/「進撃の巨人」The Final Season製作委員会

■「キャンペー兵団海ごみ討伐作戦」について

●内容

連携キャンプ場(後述)でごみ拾いに参加&Instagram投稿で「進撃の海拾人」オリジナルドライバッグを50名に抽選プレゼント!

【作戦参加方法】

- ①連携キャンプ場でごみ袋を受け取る
- ②ごみ拾い実施
- ③Instagramで【@cfb_in_oita】をフォロー&「#キャンプごみ討伐」を付けて投稿
- ④抽選で「進撃の海拾人」オリジナルドライバッグプレゼント!

- 拾ったごみはお持ち帰りください。
- 投稿画像については、ごみ拾いの様子・落ちていたごみ等が望ましいですが、キャンプで発生したごみを持ち帰る様子や、キャンペーンの販促物に関連した画像等、必ずしも直接的にごみ拾いに関連したものでなくても構いません。
- 当選者にはキャンペーンのアカウントよりダイレクトメールにてご連絡を差し上げます。(キャンペーン規約は[こちら](#))
- 賞品の当選はお一人様、一つまでとなります。

【実施期間】

2023年9月16日(土)～10月31日(火)

※期間中はオリジナルキャンペーンポスターと、日本財団オリジナルごみ袋が県内17の連携キャンプ場に設置されます。

そのうち3つのキャンプ場には、進撃の海拾人キャラクターパネル(エレン・ミカサ・アルミン)が登場!

ごみ拾いの後は作戦参加の記念に一緒に撮影を頂けます。

【連携キャンプ場リスト】(あいうえお順・敬称略)

- ・糸ヶ浜海浜公園
- ・カナディアン ヴィレッジ キャンプ場
- ・キャンプ&農園 玖珠の杜
- ・くじゅうエイドステーション
- ・久住高原沢水キャンプ場
- ・久住山荘南登山口キャンプ場
- ・くにみオートキャンプ場
- ・グランヴェルデ リゾート
- ・瀬会公園キャンプ場
- ・天空の大地 久住高原ホテル
- ・ハコニワ
- ・バルンバルンの森
- ・ボーボーキャンプ場 **★キャラクターパネル(ミカサ)登場**
- ・法華院温泉キャンプ場
- ・横岳自然公園
- ・Recamp別府志高湖 **★キャラクターパネル(アルミン)登場**
- ・るるパーク **★キャラクターパネル(エレン)登場**

●目的

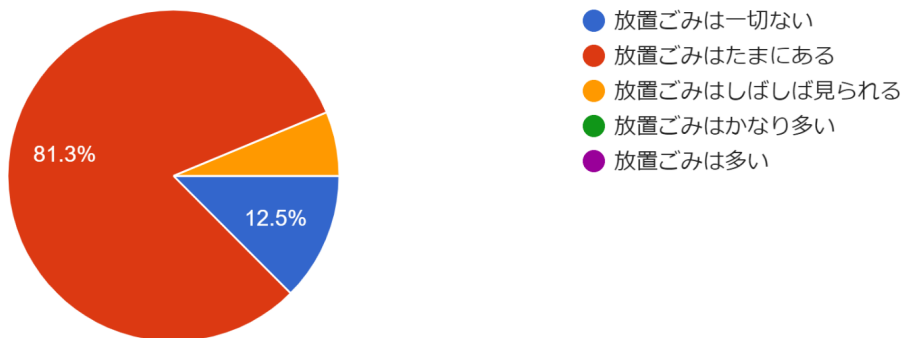
キャンプ場で発生する散乱ごみ・放置ごみをゼロにすることで、
陸から発生するごみを減らし、海洋ごみ削減に繋げる。

昨今のキャンプブームでキャンプ人口が増えている中、全国的にはキャンパーのごみ放置や”焚き逃げ”(焚火後の炭放置)が社会問題 になりつつある。キャンプ場は自然の中で行うという特性上、川に面している箇所もあり、ごみが放置されると、河川を通じ海に流出しやすい環境とも言える。海にも山にも優しい、グッドキャンパーに君はなれるのか。

●事前調査データ(16のキャンプ場ご協力を基にした回答データ)

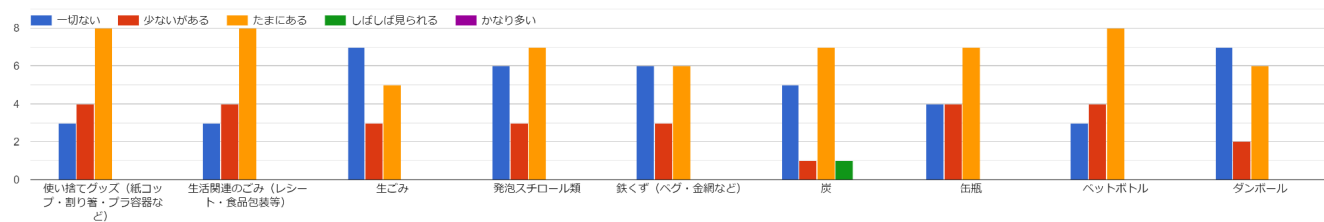
今回協力頂けるキャンプ場を募った際に、任意でごみに関するアンケートを実施。回答内容は下記の通り。

貴社キャンプ場での放置ごみ（利用者が残したor捨てていたごみ）について教えてください。
16件の回答



放置ごみは「たまにある」との回答が約8割。概ねキャンプ場は綺麗な状態であると言える。

どのようなごみが落ちているか、またその程度について教えてください。

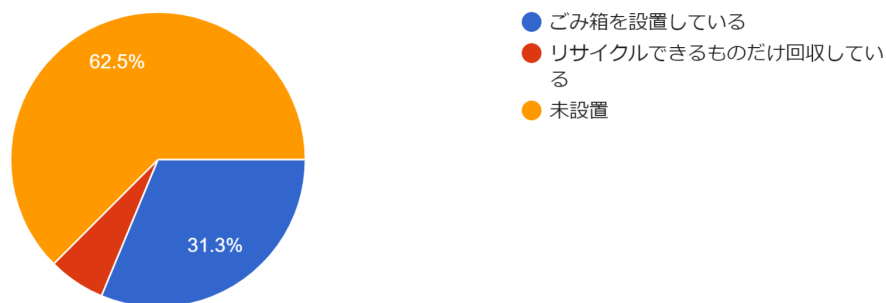


「しばしば見られる」との回答が唯一あったように、ヒアリング項目の中では「炭」の放置が最も多い。

次いで「使い捨てグッズ」「生活関連のごみ」「ペットボトル」が並んだ。

キャンプ場にごみ箱を設置していらっしゃいますか。

16件の回答



ごみ箱を置いていない割合が約6割と多い。

上記以外のごみでよく見かけるものがあれば教えてください（ございましたら）。

3件の回答

漂着したゴミ

タバコ、ガラス等に荒らされた不可抗力のゴミ

食品包装紙やティッシュなど風で飛んでいる

漂着ゴミやタバコや食品包装紙・ティッシュ、またガラスに荒らされたゴミ等、多岐にわたる回答あり。今回のキャンペーンでは実施後にもヒアリングし、事前事後でどのような変化が起きたか調査予定です。

協力：大分市キャンプ協会／日本キャンプ協会

<団体概要>

団体名称 : 一般社団法人うみらいふ

URL : https://obs-oita.co.jp/cp/change_for_the_blue

活動内容 : 次世代に綺麗な海を見せるため、本事業の実施によって県民に海洋ゴミについての関心を持ってもらい、海洋問題に対する意識を高めてもらう。
自発的なゴミ拾い、周囲への啓発を行い、さらに個人として排出するゴミの量を減らしていく動きをしてもらいたい。



CHANGE FOR THE BLUE

国民一人ひとりが海洋ごみの問題を自分ごと化し、“これ以上、海にごみを出さない”という社会全体の意識を向上させていくことを目標に、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として2018年11月から推進しているプロジェクトです。産官学民からなるステークホルダーと連携して海洋ごみの削減モデルを作り、国内外に発信していきます。

<https://uminohi.jp/umigomi/>



日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

<お問い合わせ先>

団体名称 : 一般社団法人うみらいふ

担当者: 森

電話番号 : 097-553-2509

メールアドレス: jigyo@obs-oita.co.jp